

平成30年5月21日
九州地方整備局

平成30年度 都市景観大賞 『優秀賞』 受賞
「民・学・官が一体となった歴史ある住宅地「^{ふかほり}深堀地区」の景観まちづくり」

今般、全国各地からの応募の中から、都市景観大賞が選定され、九州から「民・学・官が一体となった歴史ある住宅地「^{ふかほり}深堀地区」の景観まちづくり」が、『優秀賞』を受賞することとなりましたので、お知らせします。

◎景観まちづくり活動・教育部門

活動名：民・学・官が一体となった歴史ある住宅地「^{ふかほり}深堀地区」の景観まちづくり

活動範囲：長崎県長崎市

応募者：深堀地区まちづくり推進協議会

長崎大学工学部安武研究室

長崎大学環境科学部渡辺研究室

九州大学持続可能な社会のための決断科学センター

長崎市

《都市景観大賞》

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。

景観に関する優れた地区・活動に対し「大賞」、「優秀賞」等を授与し、更なる取組の契機としていただくとともに、良好な景観の形成が推進されることを目的に、全国に広く紹介しています。平成30年度は2つの部門（【都市空間部門】、【景観まちづくり活動・教育部門】）を実施しました。

【問い合わせ先】

九州地方整備局 TEL 092-471-6331（代表）

建政部 都市調整官 佐藤（内線6113）

建政部 計画管理課 課長 紙谷（内線6121）

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

民・学・官が一体となった歴史ある住宅地「深堀地区」の景観まちづくり

活動範囲 長崎県長崎市

応募者 深堀地区まちづくり推進協議会、長崎大学工学部安武研究室、長崎大学環境科学部渡辺研究室、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター、長崎市

活動の概要

深堀地区は、深堀鍋島家として、長崎市唯一の城下町であり、カギ型街路や石塀が数多く築かれた。こうした資源が住宅開発等で失われていることに危機感を持った住民が、歴史的景観をまちづくりに活かすため、平成7年度、地域住民主導によるまちづくり推進協議会が設立された。住宅地であるため、景観まちづくりと自治活動は不可分との考えから、協議会と自治組織を一体とした独自の仕組みが構築された。

平成23年4月の長崎市景観計画の施行を契機に、地域住民だけでなく、大学や行政等と協働し、積極的に景観まちづくりに取り組む機運が生まれた。平成24年4月深堀地区景観形成重点地区の指定、平成26年3月法定外の深堀地区景観まちづくりガイドライン策定、平成29年4月深堀ふれあい広場の完成のほか、地区内の5件の景観資産を景観重要建造物に指定するなど、住民のアイデアを協議会で合意形成することで活動の成果が目に見える形で表れている。



「景観重要建造物・山崎氏石塀」は、角地に立ち、武家屋敷深堀の街角景観を形成している。

審査講評

深堀地区には城下町の歴史と企業社宅や県営団地が共存し、石塀など城下町の風情が残るなかで住宅の建て替えも進む地域である。地域の皆さんが主体となって大学や市役所を巻き込みながら石塀の維持や保存の仕組みを運用し、また、ワークショップによる広場の設計・整備が行われてきた。他にも「歴史&福祉カルタ」やオリジナルのカレンダーを住民自ら作成するなど、まちの価値を共有し維持する体制や仕組みを上手に機能させ、空間の雰囲気作りと市民の意識向上に成果を上げている。大学生の参画が地域の刺激になる一方、大学側にとっても隣接分野の協働が実現している。これらの多様な活動に支えられた景観まちづくりを高く評価したい。

しかしそれ以上に重要なことがある。こうした景観まちづくりの体制と合意形成や運営の仕組みは、景観のみならず防災や福祉など地域の課題への取り組みにも適用されているのである。つまり景観が地域自治活動の一環として他の課題と緊密に連携しながら議論されているのである。これこそ景観まちづくりが目指すべき形のひとつではないだろうか。

今後も継続的にこの仕組みが機能し、城下町の景観保全、防災、福祉などを地域の皆さんが活発に議論し、かつ自ら担い手となる自立した地域として持続していかれることを大いに期待したい。（福井）

平成30年度都市景観大賞 受賞一覧

■都市空間部門■

大賞（国土交通大臣賞）

地区名	地区面積	応募者
おながわえきまえ 女川駅前レンガみち周辺地区 (宮城県女川町)	約6.6ha	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県女川町 女川町復興まちづくりデザイン会議 独立行政法人 都市再生機構宮城・福島震災復興支援本部 おながわまちづくりJV (鹿島・オオハ女川町震災復興事業共同企業体) 東環境・建築研究所+株式会社プラットデザイン 女川駅前商業エリア景観形成推進協定運営委員会 おながわレンガみち交流連携協議会

特別賞（「都市景観の日」実行委員会 会長賞）

地区名	地区面積	応募者
板橋区加賀地区（東京都板橋区）	約48.2ha	<ul style="list-style-type: none"> 加賀まちづくり協議会

優秀賞（「都市景観の日」実行委員会 会長賞）

地区名	地区面積	応募者
赤坂一丁目地区 (赤坂インターシティAIR) (東京都港区)	約2.5ha	<ul style="list-style-type: none"> 赤坂一丁目地区市街地再開発組合 新日鉄興和不動産株式会社 株式会社日本設計
横浜市グランモール公園地区 (神奈川県横浜市)	約2.3ha	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市環境創造局 株式会社三菱地所設計
三次町歴史的街並み景観形成地区 (広島県三次市)	約9.2ha	<ul style="list-style-type: none"> 三次町歴みち協議会 三次地区自治会連合会 三次市

■景観まちづくり活動・教育部門■

大賞（国土交通大臣賞）

活動名	活動範囲	応募者
沖縄県景観モデル地区の小学校における風景学習の試み	沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人沖縄の風景を愛さる会<small>かな</small> 沖縄県

優秀賞（「都市景観の日」実行委員会 会長賞）

活動名	活動範囲	応募者
さわら 佐原おかみさん会活動	千葉県 香取市	<ul style="list-style-type: none"> さわら 佐原おかみさん会
みやづ たけ 宮津・竹の学校	京都府 宮津市	<ul style="list-style-type: none"> 特定非営利活動法人地球デザインスクール
民・学・官が一体となった歴史ある 住宅地 <small>ふかほり</small> 「深堀地区」の景観まちづくり	長崎県 長崎市	<ul style="list-style-type: none"> 深堀地区まちづくり推進協議会 長崎大学工学部安武研究室 長崎大学環境科学部渡辺研究室 九州大学持続可能な社会のための決断科学センター 長崎市

平成30年度 都市景観大賞について

平成30年度は、下記の通り、「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集しました。

I 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞）…………… 1地区
- ② 特別賞 ……………… 内容に応じ、適宜選定
- ③ 優秀賞 ……………… 数地区

3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。

※応募者に地方公共団体が含まれない場合には、地方公共団体の確認を得たうえで応募してください。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

- | | | |
|-----|-------|--------------------------|
| 委員長 | 陣内 秀信 | 法政大学教授 |
| 委員 | 池邊このみ | 千葉大学教授 |
| | 卯月 盛夫 | 早稲田大学教授 |
| | 岸井 隆幸 | 日本大学教授 |
| | 佐々木 葉 | 早稲田大学教授 |
| | 高見 公雄 | 法政大学教授 |
| | 田中 一雄 | (株)GK デザイン機構代表取締役 |
| | 富田 泰行 | トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役 |
| | 国土交通省 | 都市局公園緑地・景観課長 |
| | 国土交通省 | 都市局市街地整備課長 |
| | 国土交通省 | 住宅局市街地建築課長 |

(順不同、敬称略、平成30年3月時点)

II 景観まちづくり活動・教育部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞）…………… 1活動
- ② 優秀賞 ……………… 数活動
- ③ 特別賞 ……………… 内容に応じ、適宜選定

3. 応募対象

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を3年以上継続して実施している団体とします。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

- | | | |
|-----|-------|---------------|
| 委員長 | 小澤紀美子 | 東京学芸大学名誉教授 |
| 委員 | 卯月 盛夫 | 早稲田大学教授 |
| | 楚良 浄 | 世田谷区玉川小学校指導教諭 |
| | 福井 恒明 | 法政大学教授 |
| | 国土交通省 | 都市局公園緑地・景観課長 |

(順不同、敬称略、平成30年3月現在)

■主催：「都市景観の日」実行委員会

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター、(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、(一社)日本屋外広告業団体連合会、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽2階 TEL 03-6912-0799 URL <http://www.udc.or.jp>

平成 30 年 5 月 21 日

都市局公園緑地・景観課

住宅局市街地建築課

平成 30 年度「都市景観大賞」各賞の選定

～良好な景観に資する地区・活動について、特に優れたものを表彰～

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成 3 年度より毎年度実施されている表彰制度です。景観に関する優れた地区・活動に対し、「大賞」「優秀賞」等を授与し、更なる取組の契機としていただくとともに、良好な景観の形成が推進されることを目的に、全国に広く紹介しております。

今般、「都市景観の日」実行委員会に設置した審査委員会において応募内容を審査し、各部門において大賞（国土交通大臣賞）など各賞が選定されました。（詳細は別添参照）

大賞については、6 月 15 日（金）開催の「まちづくりと景観を考える全国大会」において、表彰式及び受賞団体による活動発表を行います。

1. 大賞（国土交通大臣賞）

部 門	受賞地区名／受賞活動名	所在地／活動範囲
都市空間部門	女川駅前レンガみち周辺地区	宮城県女川町
景観まちづくり活動・教育部門	沖縄県景観モデル地区の小学校における風景学習の試み	沖縄県

2. 表彰式（まちづくりと景観を考える全国大会）

日 時：平成 30 年 6 月 15 日（金）13:30～16:00（開場 12:30）

場 所：東京都文京区 住宅金融支援機構本店 内 「すまい・るホール」

※ 詳細は、別紙参照

【問い合わせ先】 国土交通省 代表：03-5253-8111
都市局公園緑地・景観課 広田、小山（内線 32982、32985）
電話：03-5253-8954（直通）、FAX：03-5253-1593
住宅局市街地建築課 松野、牧田（内線 39602、39655）
電話：03-5253-8515（直通）、FAX：03-5253-1631